

毎年、今年こそOO!と意気込むものの、4月からは!に変わり、夏から!が中が7、10月からのラスト3か月で!!で、気がつけば「よし、来年みつけよ〜」と、笑いに自分に甘い私である。あー心宣言しとくか。今年こそ体を鍛え直し、ストレッチを♪

自問自答

その37

発行人: 続け、英語と中国語をマスターし、

令和6年1月9日(火)

広島市立己斐上中学校 進路通信

料理のレポートを増やし、ソムリエ並にワインの
違いを見抜き、え〜と、それから... あ〜忙し... ♪



感性の磨き方 その①

新年快樂(シン ニエン クワイ ラー)!!

新年最初の自問自答、何書こうかなあって思ったんですが、35号で感性を磨く方法はたくさんあるけどスペースの都合で割愛しましたよね。マスオ、逃げたな(-_-)と思われてもナンなんて、今回はその方法を書いちゃろ。

「日本講演新聞」、私のイチオシ新聞です。数年前に名前が変わって、もともとの名は「宮崎中央新聞」通称「みやちゅう」と呼ばれていました。その名の通り、宮崎県で発行されていて、上海日本人学校時代同僚からその存在を教えてもらい、帰国してから購読開始、その後、学級で紹介したネタは数知れず。

現在の名の通り、日本各地で行われた講演をもとに、素敵な話、感動する話、考えさせられる話、ためになる話、知らないよりは知っておいたほうがいい話、人生が変わっちゃうんじゃないかっていう話、広島にいただけでは決して知り得なかった、たくさんのお話を読むことができるのね。

月に4回発行され、Web版なら1100円で読めちゃうのだ。このお値段で感性が磨かれるとしたら安い(笑)。もしかしたらホントにあなたの人生が変わる、生き方が変わる話に出会えるかも。あの時、あの話に出会っていなければ、まったく違う人生を歩んでいたかも、みたいな。

どうせあれだろ。増尾のことだから「旅に出ろ。」って書くと思っただろ。いいか、旅になんか、ましてや海外になんて出なくていいぞ。パッカーになんてなるなよ。パッカーになったところで、海外に旅に出たところでどうなるか。ボスキャラ「リフジン」は相当手強いぞ。手強すぎて笑うしかないくらいだ。

それからな、これまで出会ったことがないような人たちに会えるだけだ。テレビでしか見たことないような大自然に触れるだけだ。あまりのスケールの大きさに己の無力さをこれでもかってぐらい味わい、自分って何てちっぽけな存在なんだって自覚するだけだぞ。

それからな、安宿なんてホントにばろいぞ。そこに世界中から年齢も文化も育った環境も違う者同士が集まり、言葉を交わし、笑い合っ、一緒に飯食うくらいだぞ。移動する時も、バスや電車は時間通りには来ないし、予約席のはずの自分の席に他人が座ってることなんてしょっちゅうだし、答えがなかなか出ない、答えが1つではない「問い」だらけで、自問自答を繰り返すだけだぞ。とにかく自分の思い通りにしないことだらけだぞ。それでもいいのか?

あとな、人生やりたいことだらけになって、帰国してからは忙しくなるぞ。結局のところ、一言で言うと、人生が面白くなりすぎるだけだ。ただそれだけのことだ。いいか、旅なんて出るなよ。間違ってもパッカーになんてなるなよ。まあ、これだけ言っても旅に出るというなら、無理には止めんが、,,、わしに連絡くらいよこせ。

いい人ぶるつもりは全くないのだが、昨秋頃からポロ散歩の時、うちのマンション周りの道ぞいのゴミ(コヒー缶とタバコ)の吸い殻が多い。ぶっちゃけ見るに見かねて、感じを拾うようにしている。今回言いたいのはここから。いなかには信じがたいが、最近良いこと(スーパーのゴミ

自問自答

その38

令和6年1月15日(月)

広島市立己斐上中学校 進路通信

発行人: 1等1000円割引券当選とか)が、続いて起きている。大谷選手じゃないか! 他人が捨てた運を拾っているんじゃないか。ある意味ね、そういうこと。



感性の磨き方 その②

前号に続き、感性の磨き方その②です。

おススメはやはり「本」でしょうか。私が今まで読んできた本の中で出会って私の琴線に触れた(誰や? ことせんって読んだやつは,,,)「言葉」「風景」「詩」などたくさんありますが、その中でも一番読み返している「詩」を今回は紹介します。今でも一年に一度は、何かの機会で見返します。今回の機会がまさにそれ。そして自問自答します。

自分の感受性くらい

茨木のり子

ばさばさに乾いてゆく心を ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠って(おこたって)おいて

気難しくなってきたのを 友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立つ(いらだつ)のを 近親のせいにはするな
なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを 暮らしのせいにはするな
そもそもが ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を 時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳(そんげん)の放棄

自分の感受性くらい 自分で守れ
ばかものよ

何度読んでも心揺さぶられる力強い詩だと思います。感性の磨き方シリーズはキリがないので今号でやめます(笑)。全部書いてたら君らの卒業までに間に合わん。あとは自分で五感をフル活用して、感性を磨いていってくれ。卒業式まで残りの登校日数,, 35日!!